川久保渓谷の水生昆虫

森本静子（ひとはく地域研究員・NPO 法人シニア自然大学校研究部水生生物科）

川久保渓谷は京都市西京区と大阪府高槻市の境界にあるポンポン山と釈迦岳を水源とする西水無瀬川の渓流である。一帯に広がる森林地帯は川久保水源の森と呼ばれ、林野庁が選定する「全国　水源の森百選」に選ばれている。川久保集落を抜け、渓流沿いにポンポン山へのハイキング道を 20 分ほど行くと高槻市が川から取水している川久保浄水場がある。水生生物科ではこの浄水場付近で有志による調査を 2010 年 5 月 4 日から 2014 年 11 月 28 日まで計 20 回行った。調査は毎回 3～4 人で、約 1 時間 30 分行った。その結果、きれいな水、ややきれいな水に棲息する多くの水生生物を採集した。魚類ではカワムツ、タカハヤ、アマゴ、カワヨシノボリの 4 種、甲殻類はサワガニ、ニッポンヨコエビ、両生類はカジカガエル、ヤマアカガエルを採集している。水生昆虫は特に多く、幼虫と成虫を合わせて 8 目 53 科 147 種を採集した。幼虫の採集は手網（メッシュ 2 ㎜）で、成虫は成虫採集用の網で浄水場だけでなくハイキング道沿いの草むらや木の枝をスィーピングし、集落内の壁やフェンスなどにとまっているものを手で採集した。なお、筆者は大阪府に棲息するカワゲラを成虫で調査しており、川久保渓谷でも単独でカワゲラの成虫を主に採集した。その調査結果も含めているのでカワゲラの成虫の採集数が多くなっている。

カゲロウ目8科35種
ウエノヒラタカゲロウ、ナミヒラタカゲロウ、ユミモンヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、キョウトキハダカゲロウ、オビカゲロウ、クロタニガワカゲロウ、シロタニガワカゲロウ、ミドリタニガワカゲロウ、タニヒラタカゲロウ、ミヤマタニガワカゲロウ属、ヒメヒラタカゲロウ、キブネタニガワカゲロウ、オオクママダラカゲロウ、クシゲマダラカゲロウ、フタマタマダラカゲロウ、ヨシノマダラカゲロウ、ホソバマダラカゲロウ、クロマダラカゲロウ、ミツトゲマダラカゲロウ、フタスジモンカゲロウ、モンカゲロウ、チラカゲロウ、ガガンボカゲロウ、ウエストントビイロカゲロウ、トビイロカゲロウ属、ヒメトビイロカゲロウ、オオトゲエラカゲロウ、ヒメフタオカゲロウ、マエグロヒメフタオカゲロウ、シロハラコカゲロウ、フタバコカゲロウ、Gコカゲロウ
コカゲロウ属。

トンボ目5科11種
ミヤマカワトンボ、アサヒナカワトンボ、ニホンカワトンボ、オジロサナエ、クロサナエ、ダビドサナエ属、ヒメクロサナエ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ムカシトンボ、ミルンヤンマ

カメムシ目3科5種
ナミアメンボ、ヒメアメンボ、シマアメンボ、ナガレカタビロアメンボ、ナベブタムシ

コウチュウ目5科12種
チビゲンゴロウ、アワツヤドロムシ、ゴトウミゾドロムシ、ツヤヒメドロムシ、ナガアシドロムシ属、ホソヒメツヤドロムシ、ミゾツヤドロムシ、チビヒゲナガハナノミ、ヒメヒラタドロムシ、マルヒラタドロムシ、ゲンジボタル、マルハナノミ科。

ハエ目6科6種　ヤマトアミカ、コモンナガレアブ、ユスリカ科、ブユ科、ガガンボ科、アブ科..

ヘビトンボ1科2種　　ヘビトンボ、タイリククロスジヘビトンボ

トビケラ目17科33種
コバントビケラ、クチキトビケラ、トビイロトビケラ、ヤマガタトビイロトビケラ、ウエノマルツツトビケラ、オオハラツツトビケラ属、ハナセマルツツトビケラ、ツメナガナガレトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、シコツナガレトビケラ、カワムラナガレトビケラ、レゼイナガレトビケラ、ユウキナガレトビケラ、キソナガレトビケラ、ヨシイナガレトビケラ、キブネクダトビケラ、クロクダトビケラ、カスガカクツツトビケラ、サトウカクツツトビケラ、シラセセトトビケラ、グマガトビケラ、ウルマーシマトビケラ、オオシマトビケラ、コガタシマトビケラ属、ミヤマシマトビケラ属、ニンギョウトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、コタニガワトビケラ、タニガワトビケラ、ヨツメトビケラ、マルバネトビケラ属、ヤマトビケラ属、イワトビケラ科

カワゲラ目8科43種
アサカワヒメカワゲラ属、ミドリカワゲラモドキ族、ヤマトヒメカワゲラ、ヒメカワゲラ属、ヒロバネアミメカワゲラ、ジュッポンオナシカワゲラ、ヨンホンオナシカワゲラ、モンオナシカワゲラ、アカギオナシカワゲラ、チノオナシカワゲラ、オナシカワゲラ、マガリオナシカワゲラ、ヨコトゲオナシカワゲラ、ウエノオナシカワゲラ、エンバンオナシカワゲラ、ウエノカワゲラ、クロナガカワゲラ、クロフタツメカワゲラ、ハルフタツメカワゲラ、ヤマトカワゲラ、オオヤマカワゲラ、キベリトウゴウカワゲラ、オオクラカケカワゲラ、エダオカワゲラ属、クロヒゲカワゲラ、フタトゲクロカワゲラ種群BCH、コバネクロカワゲラ、キブネクロカワゲラ、ヤスマツクロカワゲラ、ミジカオクロカワゲラ、（仮称）トゲオビシタカワゲラ、フサオビシタカワゲラ、ヒメノギカワゲラ、ノギカワゲラ、モンホソカワゲラ、ハルホソカワゲラ属2種、（仮称）カッパハルホソカワゲラ、*Rhopalopsole amamiensis*、*Rhopalopsole bulbifera*、*Rhopalopsole pseudoshigae*、（仮称）クビホシミドリカワゲラ、ニッコウミドリカワゲラ、

“科および属の一種”の一種を省く。種数は 1 としてカウントする。